

募集します
この広報誌が皆様に親しま
れ愛されるご意見やニュー
スをお寄せください。

Eno Times

可愛地区振興会 エノ タイムス

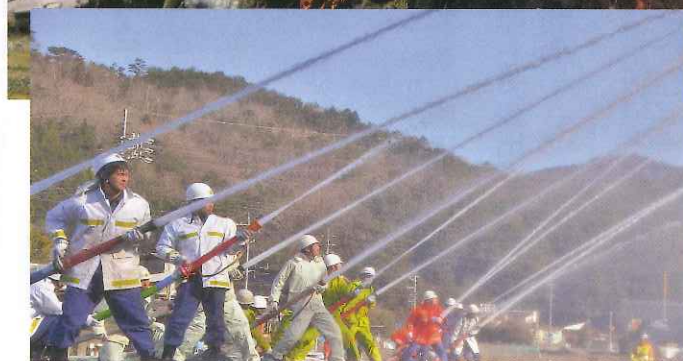
2014年(平成26年)
2月20日発行

可愛地区振興会
発行責任者 総務部



景気良く燃やし

勇壮に消す



分列行進と二斉放水

無病息災と

地域の安全を願って

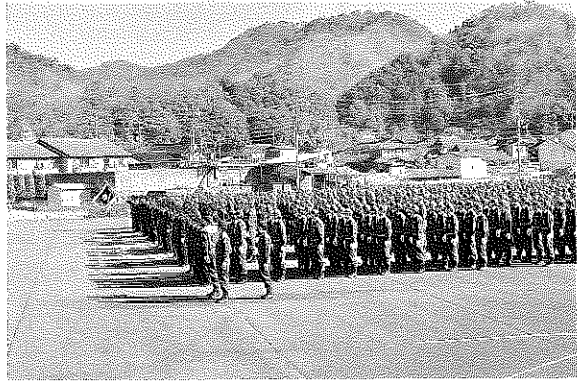
平成二十六年が幕開けし、可愛地区振興会の会員のみなさまには、日頃の振興会活動にご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も無病息災を願う、「とんど」行事に思いを込め災害が少ない事を祈り、「出初め式」の消防団員の雄姿を見て、地域の安心安全を安堵したところです。

本誌「エノタイムス」もおかげをもって十九号を発行し、会員の皆様の日頃の精力的な活動記録や地域の独自活動など、幅広く情報発信する事ができました。年二回〜三回と発行回数は少ない中、多くの記事提供に協力を頂き感謝申し上げます。今後も誌面のさらなる充実を目指して、皆様の協力のもと続けて行ければと思います。こつこつとパッカパカと地道に地域を駆け抜けながら 百万馬力で！

本誌編集総務部一同

消防出初め式 一月五日開催



総勢約700名の参加による分列行進前の整列風景
式典では左記の団員の表彰等があった

表彰状授与者(可愛地区該当者)

広島県知事表彰
永年勤続優良消防団員
第5分団 団員 大岡 義弘
元第4分団分団長 谷野 昌悟
日本消防協会会長表彰
三〇年以上勤続章
第5分団 団員 大岡 義弘
第4分団 団員 谷野 昌悟
元第4分団分団長 大岡 義弘
広島県消防協会会長表彰
三五年以上勤続章
元吉田本部分団長 吉村美智夫
三〇年以上勤続章
第4分団 団員 船津 義隆
第5分団 部長 森新 孝則
第6分団 団員 谷本 浩三
三五年以上勤続章
第4分団 團員 坂井原 剛

退任者の皆さんご苦労様でした

退任者

昇任者
分団長 (旧)
第4分団 副分団長 聖川 義明
第5分団 副分団長 谷本 章三
第6分団 副分団長 出口 義弘
副分団長
第4分団 班長 常光 和幸
第5分団 部長 土居 浩二
第6分団 " 井上 政信
部長
第5分団 班長 森新 孝則
第6分団 " 竹本 忠夫
班長
第4分団 団員 青杉 勝利
第5分団 " 坂本 浩章
第6分団 " 宮田 秀登
新入団員
第4分団 団員 常光 陽介
第6分団 " 寺本 一真
" " 作田 成史
" " 竹坂 和也

三〇年以上勤続章
第5分団 団員 増本 和之
" " " 足助 真
" " " 竹内 隆訓
五年以上勤続章
第6分団 " " 上田 蒼志彦
第5分団 団員 井上 元宏
" " " 木村 隆司
退任者(5年以上)
退団者(5年以上)
二五年 吉田本部分団長 吉村美智夫
三一年 第4分団分団長 谷野 昌悟
三〇年 第5分団 " 朝川 道哉
三〇年 第6分団 " 川本 正明
三七年 団員 武田 充治
二三年 " " 寺本 宏明

可愛地区消防団は、次代の団員確保に困窮しています。地域の人材発掘にご協力を！

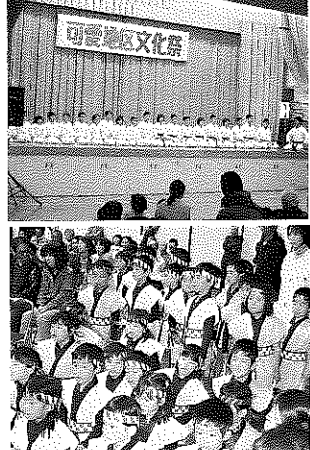
第16回吉田町ランドゴルフ
チャンピオン大会 成績表

H25.11.17 開催

順位	チーム名	総スコア	順位	個人名	スコア
1	上新屋郷A	273	1	近野信之	36
6	竹原組.1	289	3	水田邦夫	38
9	山手スマイル	298	7	川中枝弘	41
12	左巻	302	8	米村照子	42
18	宮ノ城1	313	11	鍋坂藤志	42
21	小山組.1	314	14	米村達三	43
27	中馬ホテル	326	15	沖田一夫	43
28	山手日蘭上	328	17	伊藤文孝	44

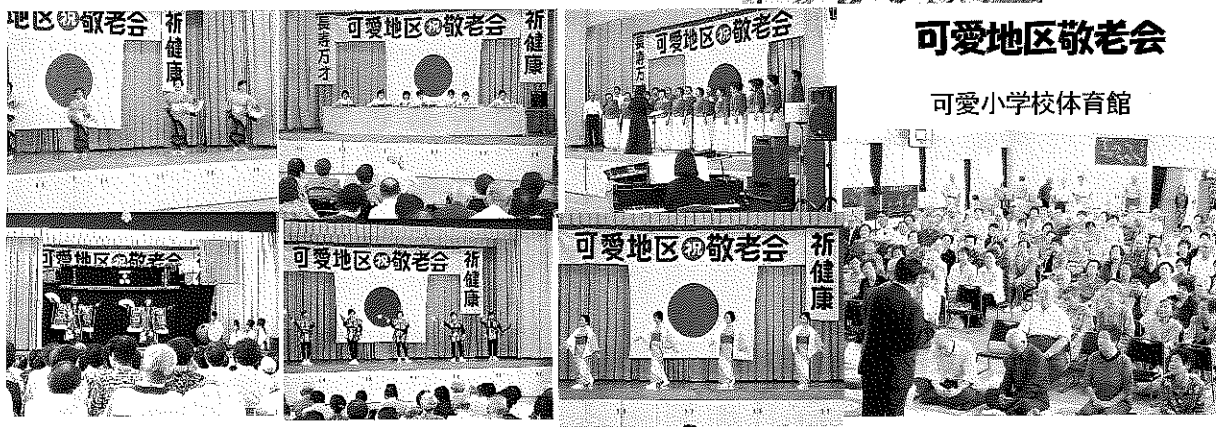
ランドゴルフチャンピオン大会へ、可愛地区から
8チームが参加し、常友支部チームが個人・団体優勝！

体育部報告
子供達も多数出演しました



文化祭ステージ発表

主な行事紹介(後半を写真で)
文化部
福祉部



可愛地区敬老会

可愛小学校体育館

活動報告

各支部からは、今回自主防災活動の報告がありました。

竹原支部



竹原支部では「私たちの地域は私たちの手で守ろう」を合言葉に地域全体で自主防災活動を行っています。今年度は、十月二十六日に地域の六十六名

の皆さんに参加していただき、自主防災活動を行いました。

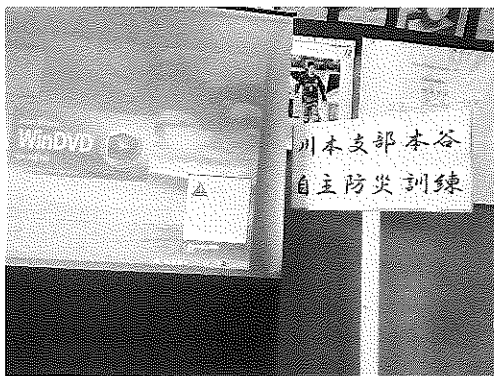
当日は、河川の氾濫を想定して、指定された場所へ自主的に避難を行う訓練を行い、その後竹原中央会館へ集合し、安芸高田市消防署及び消防団第六分団の皆さんの指導を受け、簡易担架及び土のうの作り方の指導をしていただきました。参加された皆さんで実際に作ってみました。真剣に取り組み大変良い経験をさせていただきました。

当日の活動を通して役員は各自の役割を自覚することができ、また、課題も見つかりましたが、今後の活動に活かして行きたいと思っています。活動

に参加された皆さんから、災害時に役立ちそうとの声もいただき、大変良い活動ができました。これを機会に平素から災害に備える心構えを持ち、誰もが安心できる地域づくりができればと思っています。

(文責 玉 繁 隆)

川本支部



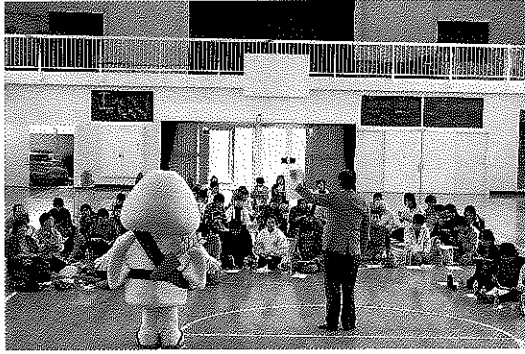
川本支部本谷地区自主防災講演会

川本支部本谷地域では、十一月二十三日地域の収穫祭に合わ

せて、自主防災活動の一環として、市の危機管理室から消防防災係 神田係長に講師として来ていただき、近年の防災情報や災害対応など身近な課題をわかり易くお話を聴く講演会を開催しました。(参加者四十二名)

本谷地区は、先の大震災害時に、地域を流れる「本谷川」の一部が堤防を越水し、数戸の床下浸水も経験しています。講演内容では、近年の降雨状況は局地的なものとなっており、メディアからの情報(特別警報や市役所からの災害情報など、早い事前の心構えと一番は命を守る行動が重要とのことでした。

会員からは、河川の氾濫状況など、事前にいち早く知る為の



説明される市民生活課の中村課長さんと市マスコットキャラクターの「タカタン」
会員の皆さんも熱心に聴講されました。

女性部

女性のつどい開催

(支部長 金山 要)

手段があればいいと、上流部の河川護岸などに水位表示等の設置提案がありました。
今年の振興会懇談会へ質問事項として出題してあります。
いずれにしても、気象情報などいち早く察知し、危険回避行動や避難準備の心構えが必要だと感じたとです。



市の公式マスコットキャラクターに決定童子として、背中に三本の矢を背負い、頭の山に木の角を生やしたすきが江の川を表したかたん体操もある。

女性部では、十一月恒例の女性のつどいを開催し、グラウンドゴルフで親睦を図り、その後体育館で「環境学習」として、市のエコマスコット「たかたん」を招き、「ごみ削減のお話を聞きました」。
燃えるごみの中で、生ごみに含む水分をなるべく少なくして出す事でごみ処理費の削減になる事。四月から資源ごみ補助金に「古着」が加わる事や廃食油の回収が可愛振興センターでされている事など説明がありました。

福祉部

友愛訪問

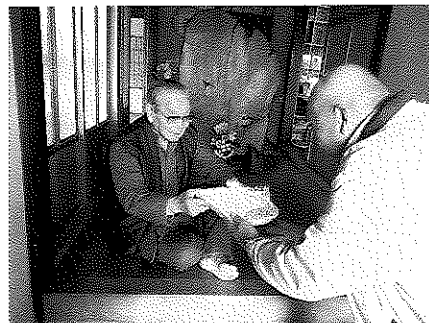


可愛地区在住のお年寄りに、女性部のお世話でおいしいお弁当を届けました。八十五歳以上の該当者は、百四十七人でした。



バランスよく盛り付けられた弁当

川本支部の丸本義人九十二歳さんへ地域の担当役員、中田さんよりお弁当が届けられました。各地区で役員さんが手分けをして、配布を行っています。



手渡しされる愛情あふれるお弁当に、元気にお出迎えをされる丸本さん。

文化部

可愛地区文化祭

十一月三日 可愛小体育館にて多くの参加者により、盛大に開催しました。



当日は、早くから多くの地域の皆さんが参加され、舞台の演目に見入っておられました。

自治懇談会の報告

二月二日(日)

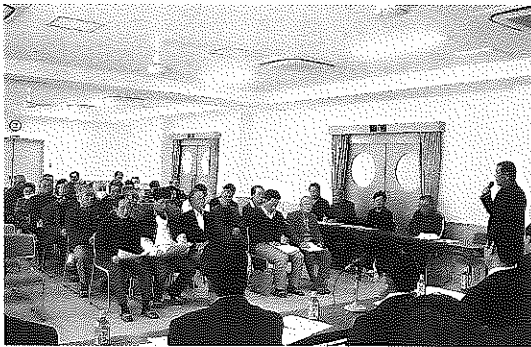
可愛振興センター 集会室



恒例になった、市行政との自治懇談会が振興部主催により開催されました。内容は質問も多く、誌面の都合により簡潔にまとめさせていただきます。(複数の質問と回答を同列に記載)

当日は、浜田市長のあいさつの後、副市長・六部署の部長・課長の紹介に続き、各支部より質疑とその回答が市よりあった。井上会長から平素の活動に対して感謝の意と、皆さんの意見が反映出来る場として懇談会が有意義に機能している等のあいさつがあった。

市長からは、現在の行政の姿勢、財政状況を踏まえた様々な取り組みについて説明がありました。一番は市民の健康づくりに力を入れ住みよい安芸高田市を目指す意気込みを語られました。又、「光ネットワーク」の整備が完了し、今後の企業誘致・



多くの会員の参加がありました
(毎号同じ構図ですが、最新版です)

物販の拡大・教育分野の利用・医療利用にと大きく情報通信のツールへの可能性が出てきたこと。また現在、スポーツ・神楽を通じて企業との連携・ふるさと応援の会」を通じた支援の輪が、市の企業・物販・文化の発信に繋がっており、こうした情報発信が地域活性化の施策へ通じていることの説明があった。

◇各支部からの質問事項と回答

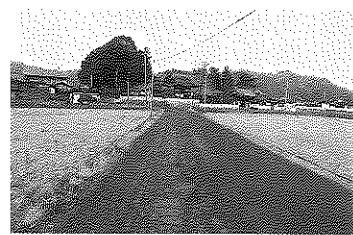
竹原支部

- Q お助けフォンの改善を
・ 使用料の明細が知りたいが
・ 人の声での放送は出来ないの
・ 大音量が鳴ることがある
・ 子機の使用ができる様に

A (企画振興部)

- ・ お助けフォンの利用料金は、事業者である中国プロードバンドサービス(株)で有料(二百十円)にて発行。今後画面上でのお知らせが出来る様要望検討中。
 - ・ 経費が大であり、音声は少し改良もした。今後外部スピーカー対応(有料)の斡旋も計画中。
 - ・ 緊急時は画面も赤色で最大音量となる。消防本部からは電子音声となるが、市役所からの緊急放送は肉声での放送となる。
 - ・ 子機は現在の機器では無理であり、今後の更新時に開発可能であれば採用。
- (お助けホンは電話機だけではなく、パソコン端末として触って見る習慣をお願いしたい) 談

Q 昭和橋く県道への舗装改修



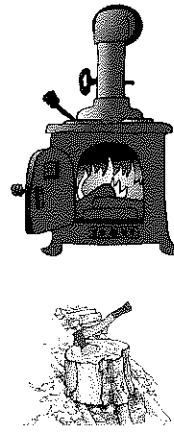
一部舗装が完成し、継続して改修が望まれる市道(県道から見る)

- A (建設部) 市道の改修は一部舗装実施済み、残りも継続し補修も合せ実施してゆく

小山支部

- Q 市道一本木く小山線の歩道設置や継続の改良計画は
- A (建設部) 歩道改良は困難な状況であるが、速度抑制など他の安全対策を公安委と検討、県道部分は整備要望してゆく。
- 今後の改良計画は、これまでの整備成果は概ね達成し、会館以降の区間は必要性・手法等費用対効果から検討を行う。
- Q 小水力発電の設備開発の予定、まきストープ活用の補助事業は無いのか

A (市民部) 市では、太陽光発電・木質バイオマスなどの事業に取り組んでいるが、小水力発電は様々な要件に揃う市内適地が無い。薪などの未利用材の活用も木質バイオマスの大規模のしくみづくりを検討中。薪ストーブ設置支援事業も今後の検討課題と考えている。



Q ・保育料の現在の減免措置で、世帯で二人以上の就学前児童が保育所入所の場合、二人目の児童の保育料は半額、三人目以降の子は無料だが、就学前児童の枠を十八歳未満までに拡大できないか

・保育料の納付を口座振替、コンビニ、クレジット対応にできないか

・吉田病院へ小児科医(二十四時間対応)の常駐の要望
 ・介護保険を利用しなかった親族世帯への何か還元の仕事はできないか

A (福祉保健部)

・要望どおり拡大した場合、減免額は約十倍の六千四百万円となる。他に独自の医療費助成に小学六年を中学三年まで拡大するなどすでに財政負担を伴っている為慎重に検討したい。

・現状は、口座引き落とし利用が八割で、他の方法では郵送料、手数料など経費が発生し導入していない。今後利用者利便性、効果など検証し検討する。

・県内では小児科医師不足での国の方針により、舟入・三次中央・尾道総合病院の三か所に集約。吉田病院は、昼間の非常勤医師での対応としており、厳しい状況。引き続き県へも働きかけを強め、充実の支援を行う。

・介護保険制度は、社会全体で支え合う仕組み。四十歳からの若者世代も含め、広い範囲での負担で成り立っており理解願う。

中馬支部

Q 油川の本格改修工事の行方は 現状は未改修部分、暫定堤防工事個所の崩壊など維持管理が困難。

護岸の崩壊や土砂の堆積状況



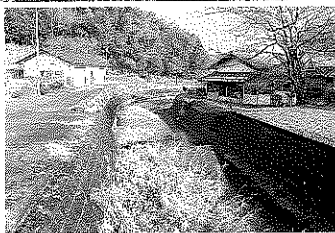
A (建設部)

・県の次期整備計画に載る様働きかける。管理道など崩壊箇所は県と対策検討中。浚渫箇所も来年度で要望する。

川本支部

Q 河川水位表示等あれば災害判断基準(目安)になり事前の自主防災活動につながるのでは (本谷川・油川など)

上流部



下流部

A 県の指定河川には水位や流量の通知義務があるが、可愛は該当していない。一緒に現地確認の上検討したい。

Q 国道五四号 中馬橋整備の要望

A 国に対し継続要望し、用地関係者とも調整中。

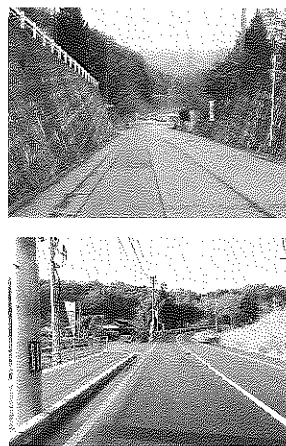
山手支部

Q 通学路の優先・横断歩道の設置はできないか (丸子山裏農免道と市道交差点付近、馬本・松浦様方交差点)



A (総務部) 横断歩道表示は警察署の判断によるので検討要望する。注意表示等、市で現地調査し検討する。

Q サッカー公園へ向けての山手側市道(未歩道個所付近に「外灯」の増設を



A 防犯灯は設置補助の制度がありませんので、危機管理室まで

Q 下水道の早期整備を

A 建設部 可愛地区の下水道整備は、市設置型の浄化槽整備区域に変更しており、個別に申請受付しています。吉田町の水洗化率は六十八・四%(市平均七十二・九%)

Q 地域で小規模の懇談会を希望する(行政・議員さんと)

A ご希望があれば遠慮なくお問い合わせを(十人以上団体)

常友支部

Q 国道での下水道工事の疑問

・工事の中断があったが
・再工事の費用負担と責任は
・事業の再発防止の市対応は
・今後の工事予定は
(付近の同じ業者が施工した他の工事状況は)

A 建設部

・工事実施後の施工不良(舗装厚不足・路盤材料の誤り)の判明による。

・当該施工業者の負担とし、ペナルティも課している。

監督する立場の責任も当然あり、再発防止の対策も実施する

・現場立会の抜き打ち実施や現場確認の検査の強化を行う。

・工事の本復旧(本舗装)に合せて不良箇所を天候の良し四月以降早い時期に実施予定
・(他の関連場所は検査の結果異常無いことを確認している)



国道54号下水道工事箇所

甲福支部

Q 圃場整備後の排水路の水路底をコンクリート打ち要望



A (産業振興部)

農業用排水路の改修は地元受益者で事業を実施して頂き、その事業費に対し補助する制度があります。申請相談は農林水産課の方へ

◇その他、参加者からの質問

Q サッカー公園へ向けての市道の白線が消えているが

A 建設部 舗装の改良などと合わせ補助メニューの検討、実態を調査する。

Q 合併以前より事業のあった「住宅新築資金貸付金」の滞納状況についてどう対応しているのか

A 副市長 歴史的経過がある中、市の滞納整理本部を中心として、債務者に対し法的処理も含め個別の面談を通して実態把

握し、各人鋭意返済中である。弁護士相談・議会報告を通じて適正に対応処理しており今後も引き続き努力する。

Q 地域で行っている「いきいきふれあい」事業(吉田町事業)の補助金縮小の話など高齢者対策に不安があるが

A 市長 この話が誤解を招いているが、市全体での予防福祉対策として、吉田独自の事業も含め他町の同事業メニューとの調整を行う考え。自助の観点からも現行事業を発展継続し高齢者対策をしっかりと進めてゆく。

Q 可愛地区での「道の駅」の構想について(議会で話があった)

A 市長 国の動向も見て計画を進めている。産直市や多方面の計画を加味した新たな展開で

Q 太陽光発電の屋根貸しが大きく日経にも取り上げられたが

A 市長 大きな反響もあり、電気エネルギーは将来的に有効活用する要素であり、地理的優位性もあり将来農業など他分野のまちづくりにも生かしたい。

Q ご当地ナンバーの考えは

A 市長 前向きに検討する。

近隣レポート

山手西地域に新たな団地が

安芸高田市優良住宅団地造成中



山手西丸子山近くに、現在造成中の土地があります。市の住宅政策課に問い合わせると、「安芸高田市優良住宅団地」認定第一号となるそうです。民間事業者による優良な住宅団地を整備し、市の認定を受けた団地です。入居にはいくつかの条件を満たすことになるそうですが、今後可愛地区住民の居住者の増加が見込まれることで、益々定住化が促進されると思われます。

アップルタウン分譲中

塩田社長に聞く



安芸高田市優良住宅団地第1号!!

アップルタウン

分譲中

しのだ工務店

陽当たりもよく、市街地・小学校も近く、通勤・通学にも最適な団地です。

子育て世帯の方を応援するために、安芸高田市からの補助金助成も受けており、近隣の一般の分譲住宅よりかなりお安く提供できます。子育てに絶対で、住み心地の良い環境に適しています。

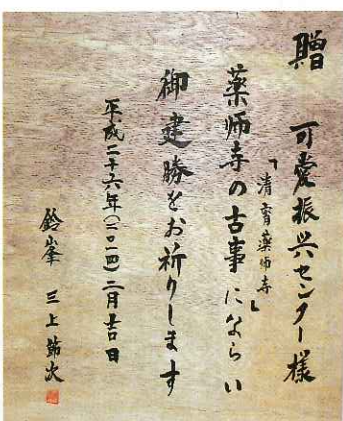
可愛地区での定住をお考えの方は、ぜひこの機会にご検討ください。
へすでに予約がされているようです。残りわずか。く

振興センターに絵画寄贈



直接、三上さんから井上会長へ届けられた

二月初め、甲福支部 三上節次さんから振興会へ絵画の寄贈がありました。薬師寺が描かれ裏には、



と添え書きがあり、玄関正面左に展示してあります。

「お助けフォン」利用料金

振興会が主催の地域イベント等の「お知らせ」告知放送は、放送料が有料です。ただし、市が主催・共催の場合無料で、後援の場合はお知らせのみ無料となります。グループ配信も可能です。(別途設定費用が必要) 詳しくは、市役所へ

サンフレ応援旗

振興会では、サンフレッチェ広島を応援する旗を国道からサッカー公園まで掲げています。



半眼思考

先の自治懇談会では、多くの可愛地区会員の皆さんが参加されました。日程の都合もあったのでしようが、若い顔ぶれが例年少ない様です。課題はまだまだ多いですが、みんなで知恵を出し合って住みよい可愛地区が継続出来ればと思います。